

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第 16 号 (2019 年 7 月 17 日発行)

定期総会が終わりました。役員・委員の選任により新しい体制でのスタートとなります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## ●本号の内容

- ・オフィシャルパートナー紹介
- ・2019 年度全日本大会(ロング/ミドル)のエリートクラス出場資格の特例措置について
- ・EA 研修会のお知らせ
- ・新事務所のお知らせ
- ・JOA と会員との対話集会報告
- ・第 7 期定期総会議事録
- ・第 21 回理事会議事録
- ・2019 年度公認大会・講習会のお知らせ

## ●オフィシャルパートナー紹介 (副会長：大里)

今回はオフィシャルスポンサーのサルミングジャパン様から、会社のご紹介、オフィシャルパートナーとなったきっかけ、オリエンテーリング界への期待についてご寄稿いただきました。

### ①会社の紹介

海外の珍しいスポーツ用品を取り扱うインターネットストア「kitahefu.com」を運営し、欧州や米国の複数のスポーツブランドの日本総代理店も担当しています。その中で最も大きなブランドがスウェーデンの SALMING です。SALMING は元々はアイスホッケーからスタートしましたが、その後ハンドボール、スカッシュ、バレーボール、ランニングなどに競技を広げ、現在は世界 60 か国以上で販売されています。

### ②オフィシャルパートナーになろうと思ったきっかけ

2018 年にオリエンテーリング用シューズ「OT COMP」(オーティーコンプ)が発売され、スイスのダニエル・フブマン選手が使用していたことをきっかけに、JOA 内でも競技でも活躍されている落合公也さんからお問い合わせを頂きました。SALMING は新しい競技に進出する時、かなり入念に調査をして、質の良い画期的な商品を開発します。本場のスウェーデンでオリエンテーリング用シューズとして開発された「OT COMP」もきっと歓迎されるはず、という確信がありました。また大きなブランドは競技人口の少ない競技を軽視しがちなため、SALMING が臨機応変に動くことで今のオリエンテーリング界に欠けている部分を補ったり、面白い活動ができるのではないかとという予感もありました。

個人的に小学校の合宿で経験したオリエンテーリングが非常に楽しく、良いイメージがあったことも、大きなきっかけになっています。

### ③オフィシャルパートナーとしての期待

多くの方が難関大学や進学校で競技を始めるという、日本のオリエンテーリング界独特の傾向が、将来性にもつながる部分だと思っています。オリエンテーリングはプロとして生計を立てるのが難しいスポーツですが、選手の学力が高く、語学の基礎知識があることで、他競技よりも仕事+海外での練習環境を提供しやすいのではないかと感じています。そうして日本の競技レベル向上に貢献しつつ、オリエンテーリング界に SALMING の商品が浸透していくという相乗効果が生まれれば最高ですね。

JOA オフィシャルパートナーにご興味のある方をぜひご紹介ください。

連絡先：[joa@orienteering.or.jp](mailto:joa@orienteering.or.jp) 担当：大里

●2019年度全日本大会(ロング/ミドル)のEクラス出場資格の特例措置について(競技委員会：広江)

本年4月1日より、これまでの「公認大会エリートクラス出場資格規則」にかわり、「全日本大会エリートクラス出場資格規則」が施行されました。規則を移行するにあたり、昨年度に公認大会のエリートクラス出場資格(以下、E権という)を持っていなかった者が今年度の全日本大会E権を取得する機会を失っていたこと、また今年度の公認大会が少ないこと、全日本ロングとミドルが連続しての開催であることにより規則の不具合が生じています。

そのため、今年度の全日本大会(ロング/ミドル)にE権特例を設けます。特例においては、当確ライン上の競技者をできるだけ広く救済することを優先しました。多少の不平・不満の生じるところがあるかもしれませんが、ご容赦いただきたくお願いします。

また、9月に開催される全日本ジュニア選手権大会につきまして、JOAの公認大会ではありませんが主催大会となりますので、上位者が以下のE権を取得できるものとします。

「全日本大会エリートクラス出場資格規則」の規定に加えて、以下に該当する者が令和元年度全日本大会(ロング/ミドル)のE権を取得するものとします。

M / W21E クラス

1. 昨年度全日本ロング(2019/4/14)のM/W21Eで完走した者
2. 昨年度全日本ロングのM/W21Aまたは全日本ミドル(2018/10/28)のM/W21Eで上位3名のタイム平均の115%以内の者(分未満は切り上げ、以下同じ)
3. 昨年度全日本ロングのM/W20Eで上位3名のタイム平均の115%以内の者
4. 以下の公認大会(カテゴリA)のM/W21Aで5位以内の者
  - ・KOLC大会(2018/11/10)
  - ・早大OC大会(2018/11/11)
  - ・京大京女OL大会(2018/11/18)
5. 以下の公認大会(カテゴリB)のM/W21Aで3位以内の者
  - ・関東学連選手権大会(学生専用クラスは除く)(2018/12/9)
  - ・中日東海大会(2019/3/31)

M / W20E クラス(以下に該当する20歳以下の者)

1. 上記によるM/W21E資格者
2. 昨年度全日本ロングまたは全日本ミドルのM/W20Eで10位以内の者
3. 全日本ジュニア選手権(2019/9/22)のM/WEで3位以内の者

●イベントアドバイザー研修会のお知らせ(業務執行理事：平島)

国内におけるオリエンテーリング大会が競技規則に従って開催され、かつ全ての競技者に公平・公正に運営されているかを点検・指導する「イベントアドバイザー」の年次研修と、「准イベントアドバイザー」資格を認定するための場として、イベントアドバイザー研修会を開催します。

期日：2019年9月8日(日)10:00～16:00

会場：滋賀県大津市 旧大津公会堂(大津市浜大津1丁目4番1号)

申込期限：2019年9月1日(日)ただし、定員35人になり次第締め切ります。

詳細はこちらからご確認ください。[http://www.orienteing.or.jp/archives/2019/0627\\_20191.php](http://www.orienteing.or.jp/archives/2019/0627_20191.php)

## ●新事務所のお知らせ

ジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエア内の新事務所に移転を完了し、6月9日より業務を再開しました。住所等は下記の通りとなります。

住所：東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square 4階

電話：03-5843-1907 FAX：03-5843-1913

## ●JOA と会員との対話集会報告（副会長：愛場）

6月9日のJOA総会の後に、JOA役員と各会員組織代表者との対話集会が行われました。

テーマは、1) 地域活性化委員会から会員支援について、2) 運営組織改革WGから特に主催大会について、でした。

### 1) 地域活性化委員会から会員支援について

近年、特に地方において会員組織が財政的にまた人材的に弱体化が目立ってきています。現在、地域活性化委員会ではそれに対して支援する方策を検討中です

この3年間、会員支援制度（公認大会の参加費に上乗せするなどの形で支援金を集める）を行ってきました。2018年度は、118万円の支援金が集まり、13件123万円の支援を行いました。内訳は、①競技者登録者数による助成：12県合計72万円、②学生数による支援：6県7万円、③公認大会の収益還元：1県28万円、④新規、復活等の特別支援：2県16万円、でした。

今後の方策としては、財政支援とともに人材支援が重要ですので、地元とJOAが協同して、核となる人材の掘り起こしやブロックでのサポートなどを、まず地区を絞って取り組んでゆく予定です。

### 出された意見

- ・まずは地図があることが重要。パークなど簡単なところからでも。
- ・裾野を広げることが重要。
- ・トレイルランナー、ジョガー、ロゲイナー、登山者、などがアプローチしやすい工夫を。
- ・講習会などを開いてそれに来る人を発掘する。
- ・イベントのスタッフを集める手段を考える。
- ・行政に認めてもらうアプローチを行う。
- ・30～40代の子育て世代が人材不足なので、この世代が参画できる工夫をする。
- ・PCの管理委託料の名目や大会開催で行政から補助金をもらう。
- ・青年の家、野外活動センターといった施設に、地図を作って使ってもらえるように売り込んでゆく。などのアイデアが出されました。

こういった財源、活動のためのノウハウについて、より具体的な方法の情報を集め、それを共有してゆきたいと思います。

### 2) 運営組織改革WGから

運営組織改革WGの目的は、持続可能なオリエンテーリング界の構造について見通しを持ち、それに向けての現在採りうる方策を検討することです。現在挙げられている課題としては、①主催大会の安定的維持、②会員（地方組織）の維持、③委員会・事務局の連携機能、④中央スポーツ団体としてのガバナンス、などがあります。

今回は特に主催大会についての意見交換を行いました。長期的な目標としては、①プロフェッショナルとボランティアが協働できる体制づくり、②地域運営組織の育成、③運営者と競技者の相互理解、④主催・公認大会を開催する組織基盤の維持、⑤相互大会運営というオリエンテーリングの文化を維持、などを考えており、中期目標としては、①主催大会の在り方についてのステークホルダー（利害関係者）間の相互理解、②主催大会のガバナンス（統括管理）の適正化、などを計りたいと考えています。

関連するWG、委員会として、全日本大会委員会、公認大会のあり方を考えるWG、スプリントWGな

どを立ち上げており、そこでの議論もふまえてゆく必要があります。

### 出された意見

#### ○全日本（ロング）について

- ・スポーツ団体としては、選手権者を決める大会は必須。当然参加者かからのレベル要求度も高い。
- ・これは運営サイドには厳しい、コストもかかる。200万規模の予算では、地方組織には無理。
- ・トレインを確保するのも難しい
- ・ダウンサイジングせずに維持するにはプロデューサーを募集するという現在の方法しかないのが現状。それがうまくゆかない場合どうするか？

#### ○全日本リレーについて

- ・ロングよりは運営負担は少なかった。
- ・地方持ち回りを維持したい。
- ・国体開催県にはこだわらなくてよいのではないか。

#### ○一般の公認大会について

- ・大会運営の質を上げ、かつ運営負担を少なくして大会を開きやすくする環境が必要。そのためにはノウハウ集、マニュアルのようなものを作るのが良いのではないか。

およそ1時間半程度の時間でしたが、皆さんが危機意識を持っていること、それに対して真剣に考えていることがよくわかりました。今後各会員、地方組織とさらに情報交換してゆきたいと考えております。

### ●第7期定期総会議事録

1 開催日時 2019年6月9日（日） 10時30分～11時50分

2 開催場所 立正大学品川キャンパス

3 出席会員 信原 靖（北海道） 飯島敬一（茨城） 岡崎良昭（栃木） 金谷昌信（群馬）  
福原正三（埼玉） 奥田健史（千葉） 杉本光正（東京） 佐藤信彦（神奈川）  
小林 力（石川） 林 博（福井） 美谷島 孝（長野） 橋本八州馬（岐阜）  
山本玄峰（静岡） 落合志保子（愛知） 平島俊次（滋賀） 古川勝美（京都）  
愛場庸雅（大阪府） 楠見耕介（和歌山） 伊藤好信（愛媛） 木村佳司（日本学連）  
以上20名 うち、氏名（協会名）は代理出席

欠席会員 （岩手） （福島）（宮城） （秋田） （山梨） （新潟） （三重） （兵庫） （奈良）  
（島根） （岡山）（広島） （山口） （徳島） （香川） （福岡） （宮崎）  
以上15名 うち、（議決権行使）12名 （委任状）3名

会長 山西哲郎

同席者 <理事> 瀬川 出 荻田育徳 藤井範久 茅野耕治 大里真理子 高橋利之 宮川早穂

藤本拓也 島津 弘 羽鳥和重

<事務局長・記録> 高村 卓

以上 12

名

4 総会開催定足数確認 会員総数 37、出席 20、欠席 15、（内、議決権行使 12 及び委任状 3）、有効出席会員 35 名

定款第 18 条による総会開催定足数 19 を満たした。

5 山西会長が定款に従い議長となり開会した。

6 議事録署名人指名

奥田健史（千葉県）、杉本光正（東京都）両氏を議事録署名人に指名した。

## 審議事項

審議に入る前に、村越副会長から 2018 年度の事業と財政の概要と会員の協力により収支の改善が進んでいたことが報告された後、高村事務局長より、その詳細についての説明がなされた。

### 第 1 号議案 2018 年度事業報告及び 2018 年度財務諸表について

高村事務局長より、2018 年度の事業報告と財務について説明した。

財務については、2018 年度も会員の協力により収支の改善が進んでいたことを説明した。

#### 監査報告

監事欠席に伴い事務局が代行して報告、5 月 10 日に事務局にて、齋藤監事、尾上監事と二人にて、会計監査では帳票類の監査を行い、法人業務執行について、法令等にもとづき適正に運営されていることを確認したと報告された。

#### 質疑

JOA オンライン登録情報が県協会にタイムリーに送られてきていない。JOY システムで入力できるようになってほしい。

事務局にてできるかどうか検討・確認すると返答。

#### 採決

質疑応答後、採決に入った。出席者 20、議決権行使 12(賛成 12、反対 0)及び委任状(議長委任)3、反対 0、計 35 名で過半数を超え承認された。

### 第 2 号議案 定款の一部改訂について

(改訂案下線部が改訂箇所)

#### ◆事務所の住所変更

| 現行                         | 改訂案                               |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 第 2 条 この法人は、事務所を東京都渋谷区に置く。 | 第 2 条 <u>この法人は、事務所を東京都新宿区に置く。</u> |

改訂の事由：

日本スポーツ協会の新会館完成に伴い、当協会も新会館に移転するため

[以下は、一般社団法人・財団法人法 77 条第 2 項、第 3 項、90 条第 3 項等を参照した]

#### ◆副会長の増員

| 現行   | 改訂案  |
|--|--|
| 第 20 条 この法人には、次の役員を置く。<br>(1) 理事 12 名以上 20 名以内(うち会長 1 名、副会長 1 名) | 第 20 条 この法人には、次の役員を置く。<br>(1) 理事 12 名以上 20 名以内(うち会長 1 名、副会長 <u>2 名以内</u> ) |

改訂の事由：

(1)について、

副会長を最大 2 名置くことで、内部・対外的な業務の執行がスムーズに行えること。また、会長・副会長 1 名が不在時にも、理事会の開催が円滑になるため。

#### ◆理事会の開催数

| 現行                         | 改訂案   |
|----------------------------|---|
| 第 29 条 理事会は、毎年 2 回会長が招集する。 | 第 29 条 理事会は、毎年 2 回 <u>以上 4 回以内</u> 会長が招集する。 |

改訂の事由：

業務の多様化・増加に伴い、2 回の理事会では十分に議論を尽くせないこと、また業務の執行状況を速やかに会員に伝達する上でも支障があるため。

#### ◆理事会の運営についての代表理事、議長定義、議事録署名人の変更

| 現行   | 改訂案  |
|--|--|
| 第 20 条 (略)<br>3 第 1 項の会長をもって法人法上の代表理事とする。                                | 第 20 条 (略)<br>3 第 1 項の会長・副会長をもって、法人法上の代表理事とする。   |
| 第 32 条 理事会の議長は、会長とする。  | 第 32 条 理事会の議長は、代表理事とする。<br><u>2 前項にかかわらず、代表理事全てが欠席したとき、代表理事全てが欠けたとき又は理事全員改選直後の理事会における議長は、出席した理事のなかから互選された者がこれに当たる。</u> |
| 第 33 条 理事会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。<br>2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に署名押印する。 | 第 33 条 理事会の議事については法令で定めるところにより、議事録を作成する。<br><u>2 議長及び出席した監事は、前項の議事録に署名押印する。</u>  |

改訂の事由：

現行では会長が不在の場合、出席した理事全員の議事録への署名が必要になる。このように規定することで、副会長も含めて議長となることができ、なおかつ、議事録署名人になることができる。  
 注：改訂に伴い、修正が必要な諸規定（たとえば理事会運営規則）がある。今後の理事会で対応する。

採決

質疑応答後、29 条の改正について条文の全文を掲載すべきとの修正動議が出されたので、その修正を採択した後、採決に入った。出席者 20、議決権行使 12(賛成 12、反対 0)及び委任状(議長委任)3、反対 0、計 35 名で 3 分の 2 を超え承認された。

◆理事会の開催数（修正動議後の 29 条改正案）

| 現行   | 改訂案  |
|--|--|
| 第 29 条 理事会は、毎年 2 回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めたとき、又は会長以外の理事及び監事から会議に附議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたとき会長は、その請求があった日から 2 週間以内に臨時理事会を招集しなければならない。 | 第 29 条 理事会は、毎年 2 回以上 4 回以内会長が招集する。ただし、会長が必要と認めたとき、又は会長以外の理事及び監事から会議に附議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたとき会長は、その請求があった日から 2 週間以内に臨時理事会を招集しなければならない。 |

第 3 号議案 理事選任

審議の前に、理事候補者の選任を検討するノミネーション WG の大里理事から、理事候補の選定の経緯についての説明をした。その後、理事候補者は総会の部屋から一旦退席、出席会員の中から仮議長として埼玉県協会の福原会長をと事務局より提案、了承され理事選任を行った。  
 事務局より、再任・新任、退任される理事の説明を資料に基づき行った。

理事

再任

藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 大里真理子 楠見耕介 愛場庸雅 新帯 亮  
 島津 弘 瀬川 出 信原 靖 山西哲郎 羽鳥和重 茅野耕治 奥田健史

新任

小林 力 高橋利之 宮川早穂 藤本拓也

退任

村越 真 荻田育徳 高野由紀 藤島由宇

監事

再任 斎藤和助 尾上秀雄

## 採決

質疑応答後、採決に入った。出席者 20、議決権行使 12(賛成 12、反対 0)及び委任状(議長委任)3、反対 0、計 35 名で過半数を超え承認された。

以上

## ■ 報告

1. JSAA の対応
2. ユニバーシアード冬季大会初出場報告
3. スキーオリエンテーリング、ユニバーシアード採用のための要望書
4. WMG2021 実行委員会進捗状況報告
5. 全日本スプリントの運営問題と運営・組織改革
6. オフィシャルパートナーWG からの報告  
(質問) 埼玉：事項 4 に関して、ワールドマスターゲーム寄附の依頼が行われるのか？  
平島：都道府県協会への寄附依頼は考えていない。

## 報告(資料のみ)

7. 事務局の人員体制について(高村)
8. 国際地図学会(村越)
9. 委員会の委員変更(AD からの資料)

以上

## ● 第 21 回理事会議事録

1. 開催日 2019 年 6 月 9 日(日) 12:00-12:40
2. 開催地 立正大学品川キャンパス
3. 出席  
理事 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 大里真理子 楠見耕介 愛場庸雅  
島津 弘 瀬川 出 信原 靖 山西哲郎 羽鳥和重 茅野耕治 奥田健史  
小林 力 高橋利之 宮川早穂 藤本拓也  
(欠席) 新帯 亮  
監事 (欠席) 齋藤和助 尾上秀雄  
記録 高村 卓  
傍聴 村越 真 荻田育徳
4. 議長 定款第 32 条 2 項により、理事の互選にて、大里真理子理事を推薦多数により決定

## 審議事項

### 1. 2019-2020 年度役員選任

定款第 32 条 2 項により、理事改選のため議長を互選により選任することを報告し、事務局から大里理事を議長とする提案を行った。

出席理事の 18 名が賛成し大里理事を議長に選任した。

### 理事

#### 再任

藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 大里真理子 楠見耕介 愛場庸雅 新帯 亮  
島津 弘 瀬川 出 信原 靖 山西哲郎 羽鳥和重 茅野耕治 奥田健史

#### 新任

小林 力 高橋利之 宮川早穂 藤本拓也

#### 退任

村越 真 荻田育徳 高野由紀 藤島由宇

## 監事

再任 齋藤和助 尾上秀雄

以上、総会で選任された再任・新任理事から、ノミネーションWGの大里理事から役員の提案がされた。

|              |       |
|--------------|-------|
| 代表理事/会長      | 山西哲郎  |
| 代表理事/副会長     | 愛場庸雅  |
| 代表理事/副会長     | 大里真理子 |
| 業務執行理事/競技力担当 | 藤井範久  |
| 業務執行理事/普及担当  | 木村佳司  |
| 業務執行理事/技術担当  | 平島俊次  |
| 業務執行理事       | 新帯 亮  |
| 業務執行理事       | 信原 靖  |

以上、審議の結果、出席理事 18 名全員が賛成し承認した。

## 2. 2019-2020 年度委員会委員の選任

2019-2020 年度委員として以下の通りの原案が示された。

| 委員会                  | 委員長  | 副委員長 | 委員    |       |            |       |
|----------------------|------|------|-------|-------|------------|-------|
| 強化                   | 寺嶋一樹 | 藤井範久 | 鹿島田浩二 | 稲葉英雄  | 西脇正展       | 尾上秀雄  |
| ジュニア                 | 国沢五月 |      | 落合公也  | 石澤俊崇  | 瀬川 出       | 濱宇津佑亮 |
| Ski-0                | 柴田達真 |      | 高島和宏  | 木村佳司  | 武石雄市       | 大里真理子 |
| MTB-0                | 羽鳥和重 |      | 山本賀彦  | 信原 靖  | 三澤儀男       |       |
| Trail-0              | 吉村年史 |      | 加納尚子  | 綾野桂子  | 樋口一志       | 嶋岡雅浩  |
| AD                   | 落合公也 |      | 荒井正敏  | 佐藤清一  | 杉本光正       | 伴 毅   |
| 資格認定(NI)             | 信原 靖 |      | 茅野耕治  |       |            |       |
| 普及教育                 | 佐藤信彦 | 楠見耕介 | 藤井範久  | 樋口一志  | 西嶋修平       |       |
| 女性                   | 高野由紀 |      | 村越 真  | 浦野 弘  | 大西 浩(登山関係) |       |
| 総務                   | 小野盛光 |      | 小泉成行  | 田島利佳  |            |       |
| 地域活性化                | 新帯 亮 | 平島俊次 | 村越 真  | 小泉成行  | 小林岳人       | 酒井克明  |
| 倫理                   | 伊藤好信 |      | 高村 卓  |       |            |       |
| 競技                   | 広江淳良 |      | 皆川美紀子 | 植松裕子  | 椎名麻美       | 宮川早穂  |
| 地図                   | 中村 憲 | 日下雅広 | 落合志保子 | 加納尚子  | 中村茉菜       |       |
| 国際                   | 茅野耕治 | 落合公也 | 大里真理子 | 木村佳司  |            |       |
| 全日本大会                | 木村佳司 |      | 吉村年史  | 大平晃久  |            |       |
| WMG2021 関西 JOA 実行委員会 | 山西哲郎 | 尾上俊雄 | 村越 真  | 大里真理子 |            |       |
|                      |      | 平島俊次 | 西脇正展  | 木俣 順  | 仁多見剛       |       |
|                      |      |      | 稲葉英雄  | 大野聡生  | 宇井 賢       |       |
|                      |      |      | 田中 徹  | 羽鳥和重  | 高島和宏       | 中村弘太郎 |
|                      |      |      | 谷野文史  |       |            |       |
|                      |      |      | 高橋 厚  | 丸藤 純  | 中村 憲       |       |
|                      |      |      | 愛場庸雅  | 楠見耕介  | 村越久子       |       |
|                      |      |      | 永田 実  | 高村 卓  | 的場洋輔       |       |

以上、審議の結果、出席理事 18 名全員が賛成し承認した。  
なお、総務委員会については、小野委員長からの提案があり、次回理事会で検討することになった。  
また、普及教育委員会の名称について、委員会内容を検討し名称変更を検討中と報告した。

以上

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

- 8月27日 第3回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権大会[国際イベント] (山梨県)
- 9月8日 2019年度第1回イベントアドバイザー研修会
- 9月14日 2019年度クラブカップ7人リレー前日大会スプリント大会兼山スペ (岐阜県)
- 10月5-6日 ナヴィゲーション・スキル検定[ゴールドレベル] (埼玉県)
- 10月13日 全日本オリエンテーリング大会[ミドルディスタンス競技] (滋賀県)
- 10月14日 全日本オリエンテーリング大会[ロングディスタンス競技] (滋賀県)
- 10月19-20日 ナヴィゲーション・インストラクター養成講座 (埼玉県)
- 11月16日 全日本オリエンテーリング大会[スプリントディスタンス競技] (福島県)
- 12月8日 全日本オリエンテーリング大会[リレー競技] (茨城県)
- 12月14日 第85回上尾大会 [公認S] (埼玉県)
- 12月14-15日 インストラクタ養成講習会 (徳島県)
- 12月22日 栃木県協会大会 [公認S] (栃木県)
- 1月13日 PO 関西和歌山大会 [公認S] (和歌山県)
- 2月23日 第1回阪神奈大会 [公認B] (大阪府)

以上